

令和5年度 雷塚小学校研究全体構想図

学校教育目標

考える子 思いやる子 きたえる子 がんばりぬく子

学校人権目標

一人一人の児童の発達段階に応じ、人権尊重の理念を正しく理解させるとともに、自他ともに大切な人間であることを自覚させる。

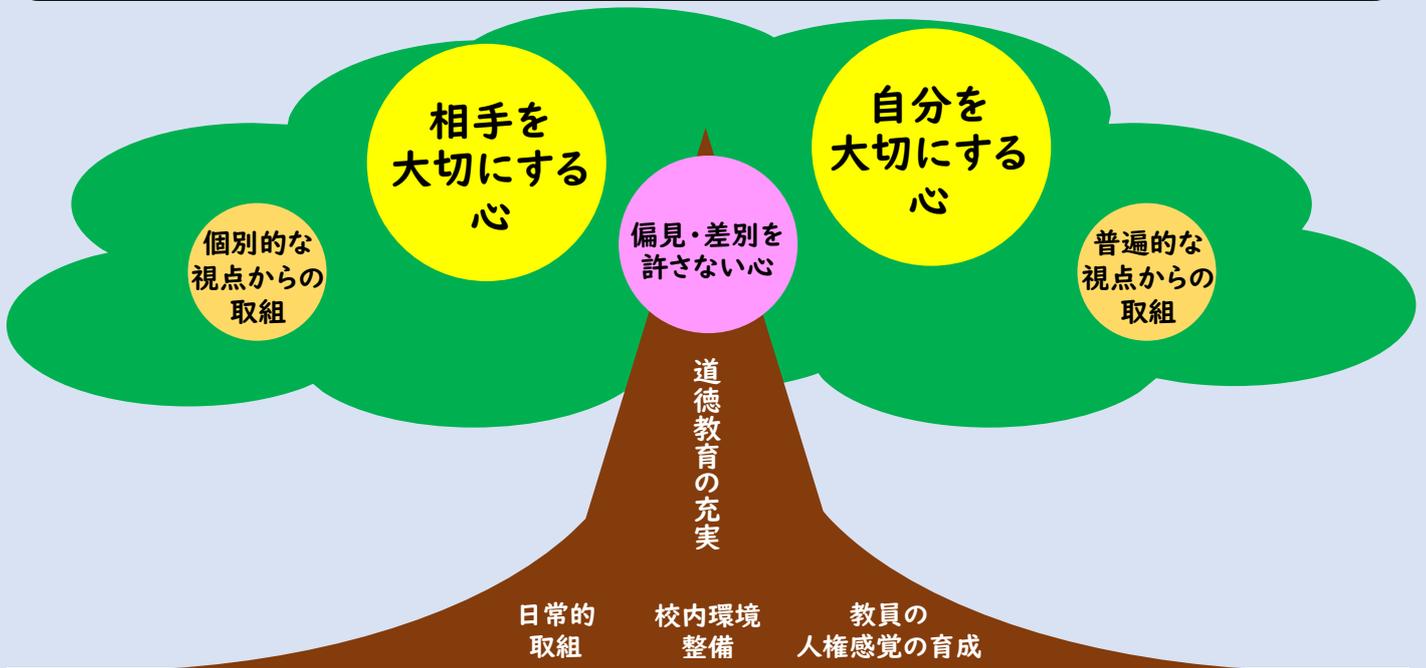
研究主題 自分と共に人を大切にできる児童の育成

分科会ごとの目指す児童像

低学年…自他のよさに気付き、自分の思いをもつことができる児童
中学年…自他のよいところを認め合い、自分の考えを伝えることができる児童
高学年…自他の違いを認めて受け入れ、自分の考えをもとに実践できる児童
特別支援学級…自分のよさを知り、相手のよさに気付くことができる児童

研究仮説

「自他を大切にするための取組」「偏見や差別をなくすための取組」を、全ての教育活動において意図的・計画的に実践することで、自分と共に人を大切にする児童が育つであろう。



手だて

自分を大切にする心を育てる	相手を大切にする心を育てる	偏見・差別を許さない心を育てる
授業の最後に振り返りを行うことで、できたことを実感し達成感をもたせ、自己肯定感を高める。	友達の意見を受け止めて自分の意見を述べることで、相手の考えを尊重する気持ちを育てる。	人権課題に関わる差別意識解消を目指した指導を行い、自他の人権を守ろうとする意欲・態度を育てる。